

H. U. 2022年卒 地域マネジメントコース

こんな学生時代を過ごしました

私は大学在学中、主に「キタキュープロモーション実習」「片岡ゼミ」「起業トライアル」の3つを軸に学生生活を送りました。

キタキュープロモーション実習の1年目では、北九州市の女性創業支援に携わりました。女性創業支援を行う事務局でインターンのような形で業務を学び、支援内容がどのように設計され、どのように創業希望者の背中を押しているのかを、現場で身をもって理解することができました。

2年目以降はCOMPASS小倉というコワーキングスペースで、市民向けの創業相談窓口の運営や、北九州市が掲げる「日本一起業家に優しいまち」の実現に向けたセミナーの企画・運営について学ばせていただき、行政・支援機関・市民が交わる創業支援の現場を肌で感じました。

また、片岡ゼミでは「リノベーションまちづくり」をテーマに、全国で活躍するプレイヤーの講義やイベントに参加し、まちづくりのリアルな現場を知りました。

現場で挑戦を続ける人々の姿勢に触れるなかで、自分自身もまちの一員として動いてみたいという気持ちが芽生え、起業トライアルを活用して小さな事業に挑戦しました。遠賀町のたい焼きカフェの一角をお借りして、約半年間「ミルクハーブティー屋」として仕入れから販売までを一人でやり、経営のような経験を積みました。その過程で、収益を出しながら事業を継続することの難しさや、自分一人でできることの限界も実感しました。

これらの経験は、現在の原動力となる「地域創生に繋がる持続的な事業をつくれる人間になりたい」という思いに繋がっています。

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

地域創生学群での学びを通して芽生えた「地域創生につながる持続的な事業をつくれる人間になりたい」という目標を実現するため、まずは“事業を創る力”を身につけようと考え、新規事業開発に特化した会社であるRelicに入社しました。

Relicは大企業からスタートアップまで5,000社以上の新規事業を支援・共創してきた実績を持ち、業界を問わず多様な事業を生み出している企業です。

入社後の4年間で、食、ヘルスケア、自動車、人材、教育、地方創生、農業など幅広い領域に携わり、事業構想から検証、事業拡大まで一連のプロセスを担当してきました。新規事業は不確実性が高く、多様なスキルが求められるため「総合格闘技」と例えられることもあります。その分学べることも多く、プロセス自体に大きな学びがあります。実際に数多くの案件を経験する中で、自分なりの勘所や意思決定のポイントが少しずつ掴めるようになり、不確実性の中にこそ面白さがあると感じながら日々の業務に向き合っています。

現在はクライアント企業とともに、社会に実装される新規事業を共創することにやりがいを感じていますが、将来的には自分自身が事業オーナーとする事業を生み出していきたいと考えています。

現役生へのメッセージ

「事業をつくれる人間になる」という目標に向かって、新規事業開発に特化した企業で、日々クライアントとともに多様なアプローチで事業構想から実装まで一気通貫で取り組んでいます。

やりたいことがまだ明確でなくても楽しめる仕事があることも、今日少しでも知っていただけたら嬉しいです。もしRelicという会社に興味を持ってくださる方がいらっしゃれば、将来やってみたいことや思い描いていることを、ぜひ聞かせていただきたいです。

Relicでの経験が皆さんの将来にどのように繋がらそうか、一緒にお話しできたら嬉しいです！



起業トライアルでミルクハーブティー屋を体験した時の写真です。この体験で事業を自分の手で作り上げることの難しさを実感し、「持続的な事業をつくれる人間になりたい」と思うきっかけになりました。



社会人2年目で東京から元地の広島に戻り、広島支社長として広島拠点立ち上げも実施しました。現在は、広島以外のクライアントの新規事業伴走支援をWeb/対面のハイブリッドで実施しながら、広島の実業への営業や支援も実施しています。